

特集

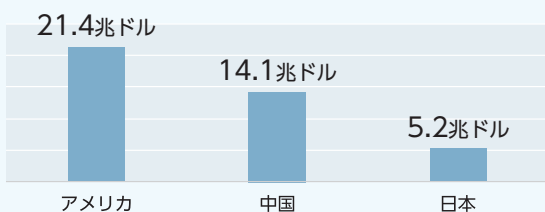
アメリカでしごと

アメリカは世界の GDP の 4 分の 1 を占める巨大市場。人口は 3 億 3 千万人、1 人当たり GDP は中国の 6.4 倍、日本と比べても 1.6 倍ある。

世界中の企業がアメリカ市場を舞台にしのぎを削る。消えていく企業・撤退していく企業も少なくない。だが一方で、し烈な競争の中から次々と新しいアイデアやイノベーションが生まれる。

GDP

2019 年推計値



出所：IMF

1人当たり GDP

2019 年推計値



出所：IMF



自動車販売台数 (2017 年)



出所：日本自動車工業会

アメリカは日本人にとって、最も親しみのある国の1つとっていいだろう。日本企業によるアメリカ市場進出の歴史は古く、早くも1950年代から販売会社や代理店設立の動きが始まる。日米貿易摩擦が激化した70年代後半から80年代にかけては、自動車・家電をはじめ幅広い業種で生産拠点が展開されていった。

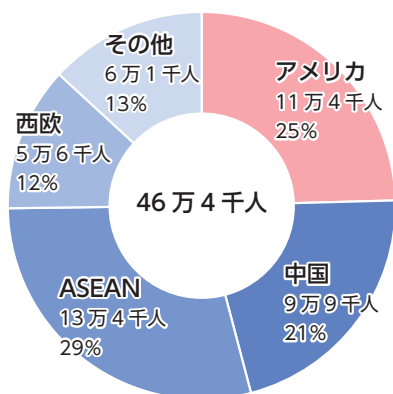
これまで大勢の駐在員をアメリカに送り出してきた日本企業だが、いまだに現地でのマネジメントには苦勞が絶えない。その大きな原因の1つとして、日本人的な仕事ぶりや会社に対する意識がアメリカでは通用しないことが挙げられる。

日本とアメリカの仕事スタイルの違いとは。しばしば起こるアメリカ人社員との行き違いの原因は何か。

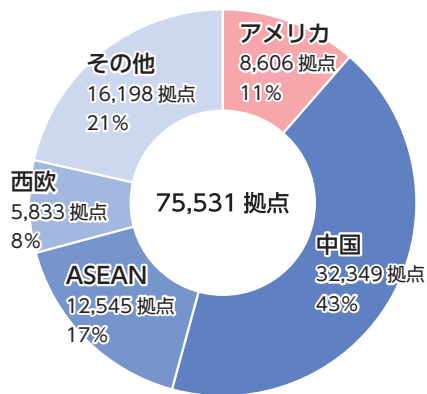
日本人がアメリカで陥りやすい労務上の誤解や失敗について、解決策を考えるとともに、アメリカで競争に勝ち残るために必要なマネジメントについて考える。



日本人駐在員の国・地域別内訳
3カ月以上の長期滞在者のうち民間企業関係者



国(地域)別日系企業(拠点)数



出所：外務省領事局政策課「海外在留邦人数調査統計」2017(平成29)年10月1日現在